私も推薦します

熊谷俊人 千葉県知事・前千葉市長

西てつし君と私は同い年でサラリーマン出身同士であり、議員初当選時からの同志です。「未来への責任」を掲げて、刺激を与えあって一緒に切磋琢磨してきた大事な仲間である西君が、千葉市と同じ政令指定都市の仲間である堺市を背負う存在になってくれることを期待しています。

深野英一 前堺市歯科医師会会長・深野歯科医院（堺市西区）院長

堺市民の健康の為に、様々な取り組みを行い、政策を提案し続ける西てつしさんの姿勢にいつも感銘を受けています。地域の安心をしっかりと創っていく西てつしさんが、堺市政を更に大きく担っていただくことを期待しています。

野上奈々 元WBC・WBO女子世界フライ級チャンピオン（堺市西区在住）

「堺から世界へ！」をテーマに西てつし議員と堺の皆さんの応援の力で世界チャンピオンに育てていただきました。青少年育成に力を注ぎ、夢への懸け橋にとチャレンジできる環境をつくっておられる西てつし議員のその姿に感動しました。これからのたくさんの子供たちの挑戦を！西てつし議員の挑戦を応援しています。

越田謙治郎 川西市長

西てつし議員と私は学生時代からのお付き合い。親友であり、ブレーンでもあり、最大のライバルです。時代の大きな転換点において、私も含め、全国では40代の若手首長が誕生しています。西議員はそれらの首長とは引けをとらない人物であり、今後堺市のリーダーとして活躍してくれると信じています。

このパンフレットの記事の内容は、2023年1月時点のものです。

市政に関するご意見をお寄せください。

西てつし　市政相談所

〒593-8322　堺市西区津久野町1-1-1-2F

TEL.072-260-1977 FAX.072-260-1978

info@nishitetsu.net　@nishitetsu1977

市政報告 特別号

西区の西 堺市議会議員「西てつし」

［編集部］〒593-8322 堺市西区津久野町1-1-1-2F TEL：072-260-1977 FAX：072-260-1978

連合大阪推薦

西てつし（45歳）

よく聞かれますが、親は政治家ではありません。サラリーマン出身です。政治家の秘書から政治の世界に飛び込んだわけでもありません。

挑戦にあたって 市政報告をお読みいただいている皆様へ。

サラリーマンを辞めて政治の世界に飛び込んで16年。皆様に応援や激励をいただいて「政治を変える挑戦」を続けてくることができ、まもなく3期目の任期も終わろうとしています。生まれ育った堺のまちを少しでも良くしていくために、普通の人にとってあたりまえの政治を創るために引き続き挑戦していきたいと思います。

この任期の4年間は、コロナの影響を大きく受けた4年間でした。そのような状況下で、堺市政がいかに市民の生活に寄り添っていくか、そして堺の将来をどのように見据えて政策を実施していくかが問われていると考え、市長とは是々非々で様々な場所で議論をしてきました。しかしながら、コロナ禍への対応についての「政令指定都市」のパワーや予算を活かした取組がほとんど無く、いたずらに財政危機を唱え、子育てや高齢者の皆さんの安心の支援等の様々な生活に関わる予算をカットする一方、ベイエリア開発や堺駅ー堺東駅間での自動運転バスをはじめとした数十億円単位での不要不急の開発や大阪府の事業に無批判に追随し財政負担する施策を実施しています。その結果として、日経「共働き子育てしやすいまちランキング」の堺の順位は下がり、子ども達の学力は全国平均に比べて大きく低下し、人口は子育て世代の流出が増え国平均と比べて大きく減少しています。

大好きな街「堺」、大事な地元「西区」をいま一度元気にするために、議会で活発に議論し、市政改革に取り組んでいきたいと思います。引き続きのご指導のほどよろしくお願いいたします。

堺市議会議員　西てつし

プロフィール

1977年 堺市内にて生まれる
1990年 堺市立平岡小卒
1993年 堺市立上野芝中卒
1996年 大阪府立三国丘高卒
2001年 関西学院大学総合政策学部卒
2003年 慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科修士課程修了
2003年 株式会社博報堂入社（06年退職）
2007年 堺市議会議員に当選（1期目）
2012年 関西学院大学講師（13年迄）
2015年 堺市議会議員に当選（2期目）
2019年 堺市議会議員に当選（3期目）

twitter で活動報告配信中 @nishitetsu1977

現在

- 危機管理体制検証特別委員会委員長
- 産業環境委員会委員
- 西区青少年指導員会副会長

声援カンパで私の政治活動の支援をお願いいたします。

これまで政治をゆがめてきた、しがらみだらけの企業献金や資金パーティと一線を画すために、「西てつし」声援カンパにご協力をいただければ幸いです。

- 郵便振替口座番号　00920-1-328661
- 口座名称　西てつしと共に歩む1000人委員会
- 声援カンパ　一口 2,000円（何口でも結構です）

西てつし事務所 | 〒593-8322 堺市西区津久野町1-1-1-2F TEL：072-260-1977 FAX：072-260-1978
E-mail：info@nishitetsu.net http://www.nishitetsu.net twitter:@nishitetsu1977

西てつし　三期目の成果と取組

この三期目の任期中、10回の本会議での会派代表質問、2回の予算・決算総括質疑、30回の委員会質疑、そして、議会運営委員会副委員長や危機管理体制検証調査特別委員会委員長や建設委員会副委員長として様々な政策の推進に取り組んできました。その中でも特にこだわって実現に奔走してきた政策の一端を紹介させていただきたいと思います。

01 コロナ対策

コロナ禍の中、現場の課題や声をもとに、当局に様々な要望や提案を行いました。まず、各学校が消毒に追われる中、物品購入予算を各学校に追加配分することを求め、安心して消毒薬等の購入を行えるようにしました。また、感染拡大防止を目的に、2020年5月、「自宅療養等応援パック」を提案し、濃厚接触者や感染者が必要に迫られて買い物に行かずに済むような仕組みを導入できました（その後市長側により制度縮小）。同年6月には、唾液PCRの導入を求め、1日当たりの検査件数は飛躍的に拡大しました。ワクチン接種においても、堺市内のものづくり企業の生産管理ノウハウの活用を提案し、接種数の拡大とトラブル防止をはかることができました。

02 SDGsの取組

「持続可能な開発目標（SDGs）」は、生活の質を高めつつ、社会が持続的に維持・発展することであり、自治体の取組が、今、注目されています。1期目には「環境モデル都市」への応募、2期目には「SDGs未来都市」への応募、3期目には「脱炭素先行地域」への応募を議会で最初に提案し、国から認定されて、国の施策や予算を取り込んだ取組が進んでいます。また、プラスチックのリサイクルについても先進的な取り組みを行うべく実証実験が進んでいます。産業政策としても、世界的な企業がSDGsの取組をサプライチェーン全体に求めはじめた結果、環境問題への取組をすすめ、二酸化炭素排出量の見える化等の取組を行うことが発注のきっかけにもつながりはじめている中で、企業支援も進めるように議論しています。

03 おでかけ応援制度改悪阻止

2021年11月に、市長側から健康寿命が長くなったことを理由に「おでかけ応援制度」の対象年齢の引き上げが提案されました。市議会で代替案の有効性も含めて激しい議論になりましたが、この「おでかけ応援制度」は、市民の皆様の健康維持のみならず、公共交通の利用を促すことでバスや路面電車等の路線の維持につながっていることや、市内での経済効果が大きいこと（約56億円）等を評価し、市議会としては大阪維新の会以外の全会派で提案を否決しました。2022年2月にも再度ほぼ同じ内容の案が提出されましたが、再度否決しました。

04 災害に強いまちづくり

2期目に、災害時に全国からどのように応援をうけるかについての計画や取組が存在しないことを指摘し「受援計画」が策定されました。そして、2022年に「堺市総合防災センター」が開設され、体制整備が進んでいます。また、避難所はスマートフォンの充電等が行えることが重要との観点から、2018年3月本会議質疑で学校の太陽光発電を災害時に使えるようにすべきと求め、太陽光発電が設置されている西区内の小中学校を対象に停電時の利用方法等の説明を行うことができました。また、石津川水系の石津川、百済川、百舌鳥川、和田川の浸水想定区域の早期更新を2020年3月に委員会で求め、現在、石津川水系全体での新しい浸水想定区域がハザードマップに掲載されています。

05 子育てしやすい街づくり

子育て当事者として、1期目にはワンコイン医療制度の提案・導入に取り組み、2期目は、子育てアプリの導入や病児保育の導入に取り組みました。3期目は、待機児童対策として小学校敷地における小規模保育所の設置や調整に取り組み全国的にも珍しい事例をつくることができました。また、保育園申請のオンライン化の重要性について委員会で提起し、オンライン申請がはじまっています。また、幼児期の早期発見が改善につながる弱視について、視覚屈折検査を行う重要性について議会ではじめて取り上げ、2022年秋3歳児健康診査時の屈折検査の実施が決まりました。保育料の多子世帯無償化については市長が公約を反故にして議会で大きな議論になりましたが、引き続き導入を求めて行きます。

MBSの番組で取材されました

06 空き家対策

放置された空き家や管理不足の空き家の存在は、街の活力を奪い治安の面からも課題が多いと8年前から取組の必要性について何度も議論してきました。その結果、実態を把握するという観点から2019年、全国でも珍しい「空き家実態調査」が行われ、2020年には所有者調査やアンケート調査を行いました。現在、堺市は、不動産関係企業との空き家所有者のマッチングを行うと共に、相続問題によって対応が困難になっている事例の解決の為に司法書士に相談しやすい体制づくりを進めています。

07 堺市歯科口腔保健条例を条例提案

口の健康が全身の健康と関わるとの学説が多数発表される中、堺市民が、健康で一生自分の歯で噛める喜び、話す幸せを持ち続け、豊かで充実した生活が実感できるように取組を進める事を規定した「堺市歯科口腔保健推進条例」が、2021年3月議員提案による全会一致で成立しました。この条例は、先進的な内容で条例を制定しようと数年前から超党派議員で作業チームを形成し、歯科医師会の先生方とも意見交換しながら作業したものです。作業チーム副座長として関わり、条例制定を実現できて感慨深いです。

08 浜寺小学校建て替え

運動場が堺市内で一番狭い浜寺小学校の建替え時に、運動場の広さを大きくしたい、特別教室のスペースを確保したい、津波発生時にできるだけ高いところに避難できるようにしてほしい、と校区の方々から要望を頂きました。その為には、3階建てではなく4階建てにするしかありませんでしたが、用途地域の指定がネックでした。そこで、2019年の予算審査特別委員会で、過去の用途地域変更の事例を挙げ、敷地の用途変更とスペースの確保の為の設計変更を求め、審議会を経て変更されました。その結果、運動場は当初の計画より広くなり、特別教室等のスペースを確保して、津波避難のための高さも確保することができました。現在、2025年の新校舎完成を目指し工事中です。

（浜寺小ホームページより引用）

09 津久野駅前のまちづくり

8年間本会議の殆どの質問機会で、東西往来が不便な事、西口ロータリーが暗い事、東口のUR三棟が耐震検査を終えていない事、快速停車等様々な課題について質問し多くの議論を行いました。地域においては、まちづくり団体「好きやねん津久野」の皆さんが中心になり「津久野駅前プロジェクト協議会」が設立され、積極的な取組が進んでいます。その結果、堺市は、同協議会の取組を尊重し、2022年津久野駅前を「一体的かつ総合的に市街地の**再開発**を促進すべき相当規模の地区」に指定しました。現在、堺市は、関係機関と協議調整を行っていく為の調査や、市街地整備の方策検討に取り組みながら、地元の機運醸成、地権者の意向把握などの合意形成や組織化に向けた活動支援に取り組んでいます。

10 地域整備

地域の皆さんからいただいた安全なまちづくりについての要望の実現に努めました。下記以外にも実現途中のものがありますので引き続き実現に努めます。（五十音順）

信号設置

鳳駅下り交差点右折矢印設置
神芝橋信号設置
ときはま線諏訪ノ森神野線交差点右折矢印設置

地域整備

上野芝小学校前自動車停止表示塗り替え
上野芝町神野町百済川河道内の雑木伐採
上野芝町自転車道舗装修復
上野芝町泉北1号線歩道舗装整備
上野芝向ヶ丘町雨水枡機能回復
上野芝向ヶ丘町水銀灯設置
上野芝向ヶ丘町道路減速表示
上野芝向ヶ丘町道路上覆土除去
上野芝向ヶ丘町マンホール改修
家原大池公園遊具リニューアル
家原寺小学校南側斜面雑木伐採
家原寺小学校南側歩道舗装修復
家原寺町2丁道路舗装復旧
家原寺町2丁舗装修繕
旧津久野下水処理場横照明設置
百済川阪和線下自転車通路柵改修
神野公園雑草伐採
諏訪ノ森神野線神野町ガード下交差点側道歩道確保
津久野駅東口点字ブロック張替
津久野駅東口歩道チェーン補修
津久野駅西口照明補修
津久野駅西口ロータリー再整備
津久野駅西口ロータリー雑草伐採
津久野町1丁河川管理通路減速表示
津久野町1丁道路外側線塗りなおし
津久野町3丁点字ブロック補修
津久野町3丁歩道柵補修
津久野町3丁横断注意看板設置
鶴田橋保全工事
八田寺公園照明修理
八田寺公園雑草伐
八田寺公園側溝修繕、補修
原田水路柵補修及び雑木伐採
平岡町伊勢路川沿街路樹剪定
平岡町カーブミラー位置修正
平岡公園遊具修理
平岡公園防犯カメラ横草木伐採
平岡町架線位置変更
平岡町交差点白線引き
平岡町交差点交差点灯設置
平岡町道路舗装エプロン部分加工
平岡町道路舗装打ち換え
堀上公園雑草伐採
堀上緑町1丁道路舗装本復旧
堀上緑町1丁道路舗装復旧
堀上緑町1丁歩道舗装修繕
北条町2丁水道管入れ替え

その他、本会議や委員会での全ての発言機会で、政策を提案し議論して問題解決へとつなげてきました。
詳しくはホームページをご覧いただければ幸いです。
https://nishitetsu.net/

西区の西が堺を創る！

3期12年間の取組とこれからの10の約束

01 物価高への対策

18歳までのワンコイン医療制度（医療費助成制度）の実現に取り組むと共に、おでかけ応援制度の縮小阻止に取り組みました。また電力・ガス・食料品等の価格高騰による負担増を踏まえ、低所得世帯に1世帯あたり5万円が給付されることになりました。

創る！

国の物価高対策や交付金を注視しながら、物価高による市民の方々の負担増を少しでも軽減できる対策に取り組んでいきます。

02 ムダ遣いの削減、行政の効率化

ムダ削減

事務事業評価シートの公開についていち早く取り上げ、事務事業評価の改善について議論し、成果指標等に基づく政策評価が行われるようになりました。また、RPAの活用等について堺市議会ではじめて取り上げ、DXの推進に取り組んできました。

創る！

適切な成果指標の設定によるPDCAの実行を求めて行くと共に、DXのさらなる推進により、堺市の様々な人的資源を市民サービス向上に活かせるようにしていきます。

03 子育て支援の充実

子育て当事者の1人として、様々な子育て支援について議論し、中学校卒業時までの子どもワンコイン医療費制度の創設から18歳までの拡大、施設型や訪問型の病児病後児保育の実現、「さかい子育て応援アプリ」の導入、第二子以降の保育料無償化につなげることができました。弱視対策にも積極的に取り組んだ結果、3歳児検診で視力屈折検査が導入されます。

創る！

当初中止になったものの、議会の強い求めにより実施される第二子以降の保育料無償化の着実な実施及び恒久化に取り組みます。また、仕事と子育ての両立支援の強化、病児保育の充実、保育士や小学校教師の加配等を通じての保育や教育の質の向上等を提案すると共に、年々増加している不登校児童の支援にも努めます。

04 移動支援・公共交通の充実

バス網の維持拡大を要望し、利用拡大の提案を続けています。「おでかけ応援制度」の利用日数の制限撤廃を求め、2018年に実現することができました。2022年、永藤市長が、「おでかけ応援制度」の年齢引き上げの改悪を提案しましたが、議会で否決することができました。

創る！

高齢者や妊産婦の移動支援として重要な公共交通網をしっかりと守っていくためにも、「おでかけ応援制度」をしっかりと維持していきます。

05 防災対策

（災害時に全国から支援を受けるための）受援計画の策定、小学校設置のソーラーパネルの災害時活用、備蓄食品のアレルギー対応、防災トイレの設置、石津川水系での浸水想定区域更新及び公表等を提案し実現に至りました。

創る！

阪神、中越、東日本大震災での救援ボランティアや避難所運営の経験を基に、災害用井戸の設置や、防災無線の改善、避難所の運営支援等の準備と拡充を求めます。

06 堺市のPR強化、戦略的広報の推進

人口誘導や観光インバウンドの増加等を目的に、プロモーション強化やマーケティング手法の積極的活用を求めてきました。堺市役所にPR担当課（現広報戦略推進課）が設置されると共に、様々な施策においてタッチポイントの考え方が活用されはじめています。

創る！

しっかりとした市場調査を行い、エビデンスに基づいた効率的な広報を実施して、人口誘導やインバウンドの獲得を行えるように求めて行きます。

07 国際標準の自転車のまちづくり

古墳築造によって鉄器文化が興隆し日本有数の自転車の生産高を誇る堺は自転車のまちづくりを推進すべきと提案し、政令市で最初の「自転車まちづくり部」（現在はサイクルシティ推進部）が発足して、全国から注目される取り組みを行っています。

創る！

シェアサイクルポートの設置拡大や自転車走行空間の距離延長、安全な自転車走行環境確保に取り組みます。

08 環境モデル都市　SDGs未来都市

国が公募した「環境モデル都市」「SDGs未来都市」「脱炭素先行地域」への応募を、堺市議会ではじめて提案し、国から認定され予算措置もされています。また、「経済」「社会」「環境」が好循環を果たすように、SDGsプラットフォームの設置を提案し、現在約800の企業・団体等が登録されています。

創る！

市が積極的に脱炭素の取組を進めていくように議論を活発化させると共に、市内企業のカーボンニュートラルの取組や二酸化炭素の「見える化」を支援することを目指します。また、プラスチックのリサイクルの積極的推進等4Rの取組の拡充を目指します。

09 空き家対策

空き家対策について議会で何度も実情を訴え議論し、ワンストップでの相談窓口が設置されると共に、政令指定都市初の実態調査が行われました。その調査結果を基に、不動産事業者とのマッチングの充実や相続に困っている方への司法書士への相談支援が行われるようになりました。

創る！

地域の安全や活性化の為に、管理不全な空き家を減らさなければなりません。空き家を流通にのせる仕組みや発生抑制策の充実について取り組みの提案や加速化に取り組みます。

10 津久野駅前周辺地区のまちづくり

津久野駅周辺の様々なまちづくりの課題と解決の重要性について質問の機会の度に取り上げました。2022年8月、堺市は、津久野駅前周辺地区を市街地の再開発を促進すべき地区（2号地区）に指定し、権利調査や事業者ヒアリング、再開発手法の検討を開始する共に、住民主体のまちづくり協議会に対して補助を開始しました。

創る！

津久野駅周辺の様々なまちづくりの課題を解決していく為に、「好きやねん津久野」の皆さんや地域住民の皆さんと意見交換しながら、津久野駅前の再開発を支援する態勢づくりを関係機関に強力に求め、早期の完成を目指して力を尽くします。